

奥村憲照先生書

回作品の出し方

▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書道の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に関係していた頃の「新和様」のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいります。

〔読み〕

水仙や白き障子の
とも移り

芭蕉

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は作品の一部としてバランスよく収めて下さい。

※印のない方は赤ペンで□を書き入れて下さい。

準初段から六段まで

新入から1級まで

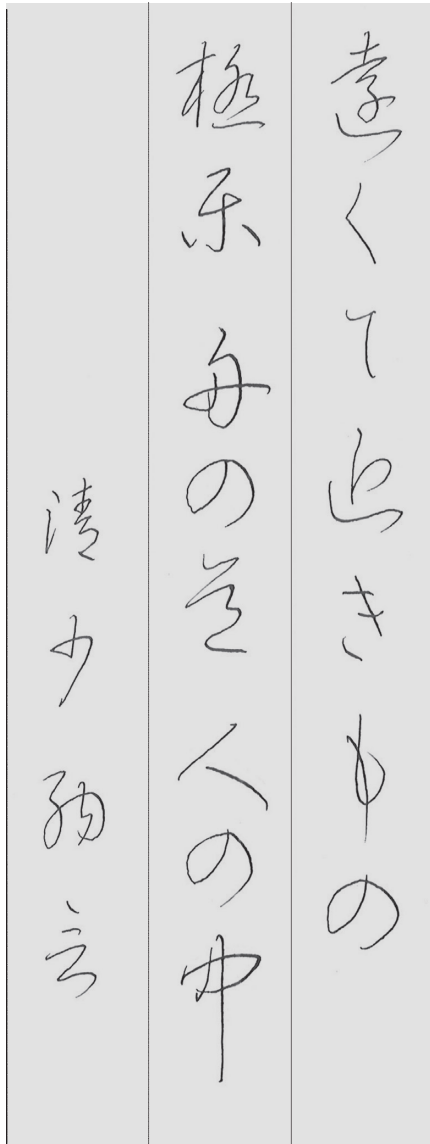
〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕遠くて近きもの 極楽舟の道人の中 清少納言



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。
 ◎今月は草書が中心。草書の線は大部分曲線的になって丸みがある。氏名は本文の書体に合わせるよう草書で書くと評価が高くなる。



おか だ りゅう ほう 書
 岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

| | | |
|---|---|---|
| 無 | 母 | 子 |
| 償 | の | に |
| で | 愛 | 対 |
| あ | は | す |
| る | 何 | る |
| | 時 | |
| | も | |
| | | |
| | | |

おお たに せい じょう 書
 大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆12月課題予告(楷書)
 必要なのは
 激越げきえつな創意性でなく
 日々の微妙な変化だ
- ▼教範・書範⇨行草または草書
- ▼師範⇨行書

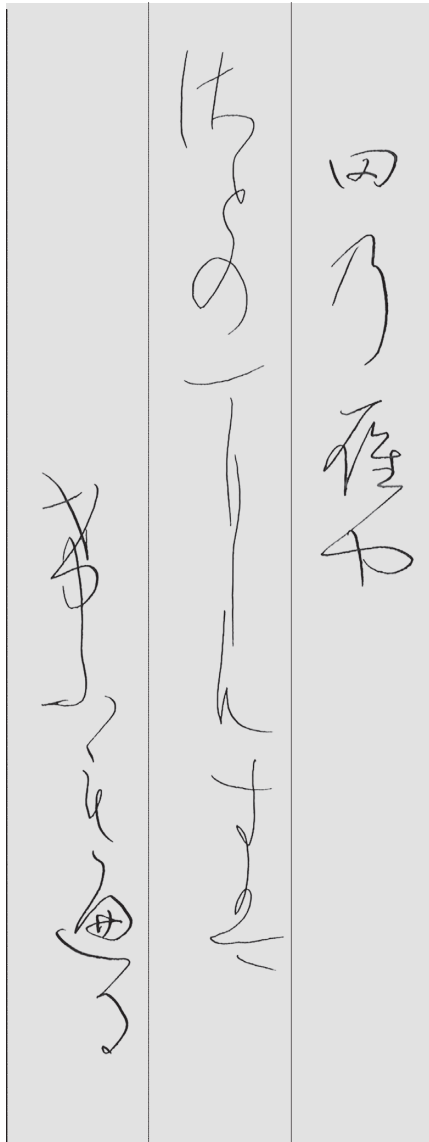
★遠くて…(書体⇨行草または草書)
 清少納言(元交單一〇三五壺)
 平安中期の女流作家・歌人
 極楽ははるか遠くにあると思われま
 すが、仏を念ずることで近い存在にな
 り、また陸路では遠い場所も、舟なら
 ば随分近くなります。
 人の中は、男女の仲のことで、距離
 が隔てられていても、心が通じ合っ
 ていれば近くに感じられるものです。

★子に…(書体⇨楷書)
 菊池寛(二八八〇〜五〇八)
 小説家・劇作家
 母親の盲目的な愛は、時に子を歪め
 ると批判の対象になりますが、それが
 無償の愛であれば、たとえ盲目的だと
 言われようと、子供にとっては何にも
 換えがたい宝でしょう。
 子供にとって母親の愛は永遠であ
 り、大きいものです。

◆12月課題予告(行書)
 世界を怖れるな
 唯、自己を怖れよ
 杉浦重剛

準初段から六段まで

新入から1級まで



田乃の雁佐とや里耳无すの人数盤希はけふ毛もへる遍

田能の雁さとや里尔无春者介の人数者介はけふもへる

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

田の雁かりや里にんすの人数はけふもへる

(小林一茶)

〔句解〕北の空から渡ってきた雁かりが刈り田に下りる頃、信濃しなの(長野県)では冷たい雪がちらつき始める。男達は仕事を求めて、二人三人と村を去ってゆく。

〔鑑賞〕秋の収穫が済むと、男達は郷里を離れて、江戸へ出稼ぎに行く。雪に埋もれる冬の間、徒食とじよくを避けるため、それは生活上やむをえぬ慣習となっていたのである。

〔古筆参考〕

能の 能 能 能 能
佐の 佐 佐 佐 佐
春の 春 春 春 春
盤は 盤 盤 盤 盤
遍へ 遍 遍 遍 遍

〔解説〕「へ」の「へ」などの最後の二点は下の方に書くとバランスが良い。「へ」の「へ」は、藏鋒のように上の方へ突き当って、縦に書き始めると書きやすい。

◆12月課題予告
是がまあつひの栖すみかか雪ゆき五尺ごしゃく

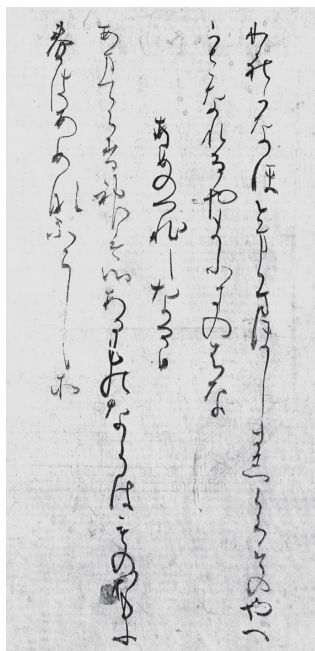
(小林一茶)

締切り 十一月二十四日（必着）

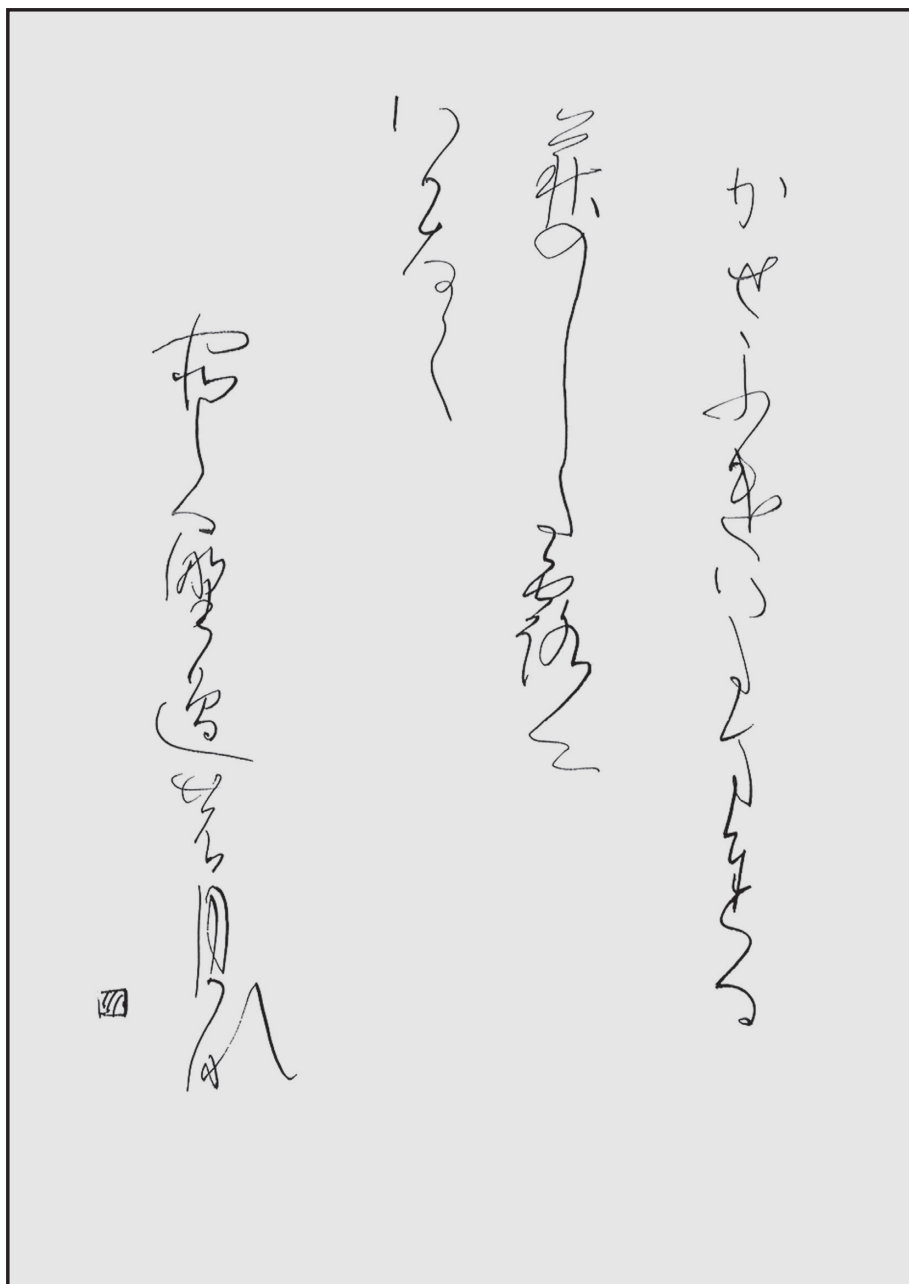
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



われがなほとまらまほしきしらくものやへ
かざなれるやまぶきのはな
あめのつれぐなる日
あまてらす神も心あるものならばものおもふ
春はあめなふらしそ



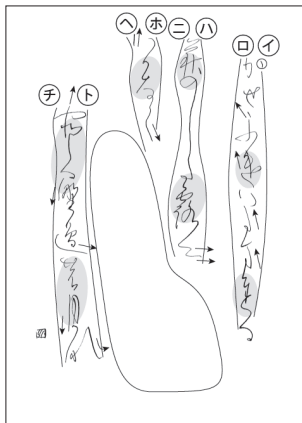
風吹けば玉散る萩のした露に
はかなく宿る野辺の月かな

〔歌意〕 風が吹くと玉と散る森の下露に、ほんのつかの間だけ映る野辺の月の光よ。

〔出典〕 新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ・ ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、それぞれ呼応。
- ・ ○ 余白大切。
- ・ 行の揺れ・ふくらみ大切。
- ・ ● 密の動き大切。
- ・ 方向、○の位置大切。

◆12月課題予告

かささぎの渡せる橋におく霜の白きを見れば夜ぞふけにける

締切り 11月24日(必着)

毎年恒例の菊花展がいよいよ開催
されますね。色取りどりの鉢を
抱えて、意気揚々と会場に向かう
お二人の姿が目に浮かんできます。
新品種の紫の蕾がどんな大輪を
観せてくれるか楽しみでです。

毎年恒例の菊花展がいよいよ開催
されますね。色取りどりの鉢を
抱えて、意気揚々と会場に向かう
お二人の姿が目に浮かんできます。
新品種の紫の蕾がどんな大輪を
観せてくれるか楽しみでです。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お 尾 郷 すい 翠 光 書

米国の通信衛星リレー1号を中継
し、日本初の宇宙放送受像に成功。

大分県別府市 氏 名

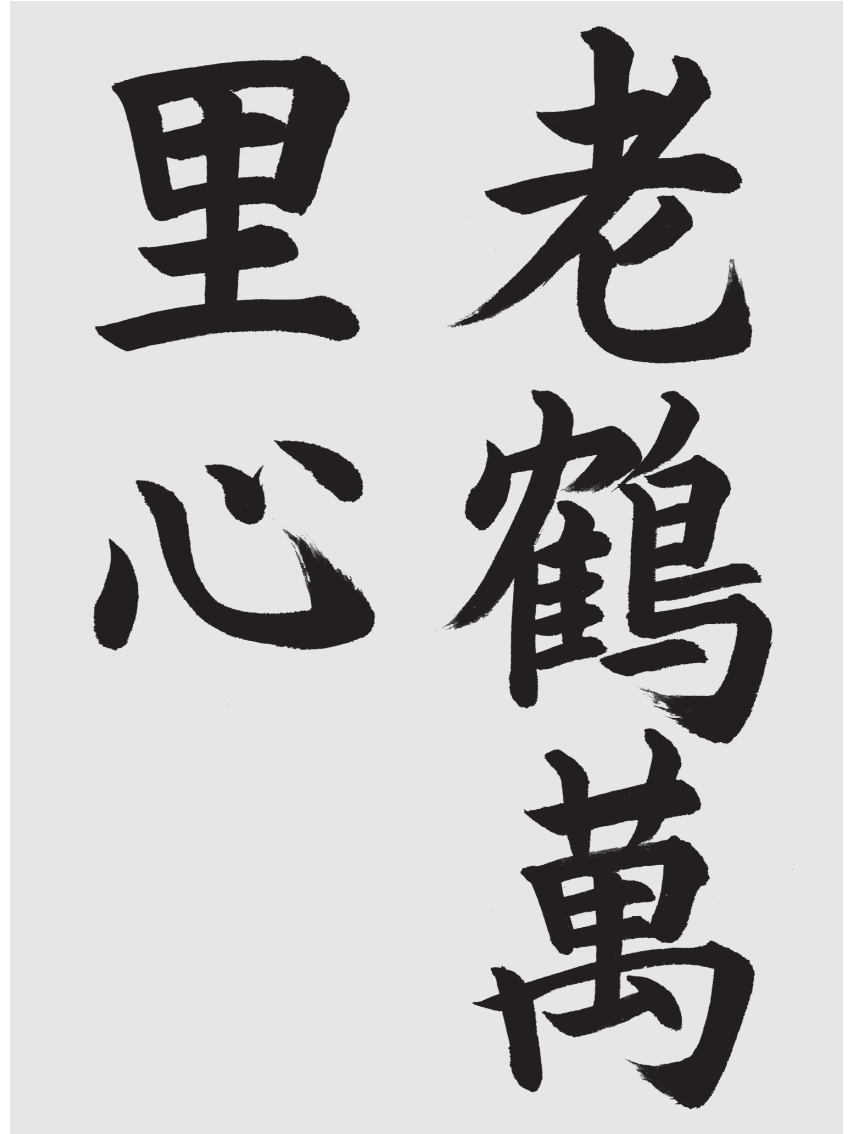
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 11月24日(必着)

新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

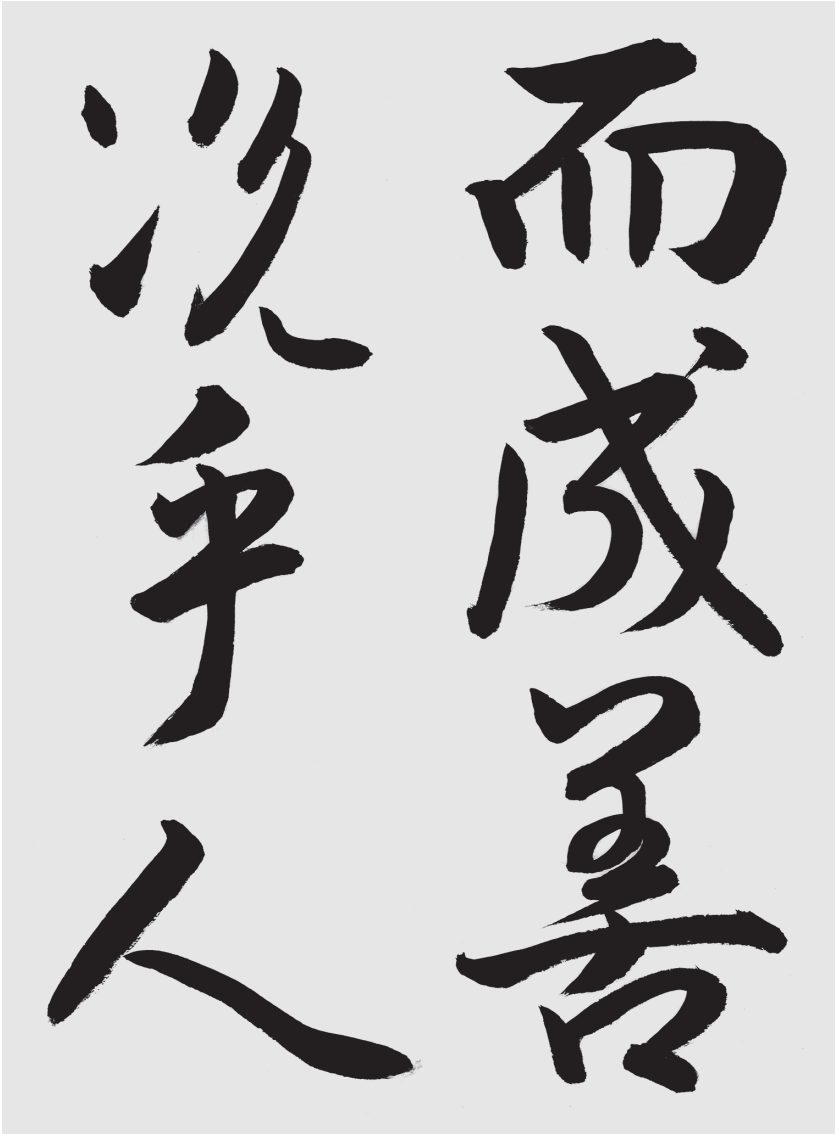


〔読み〕 老鶴萬里心ろうかくばんりのこころ

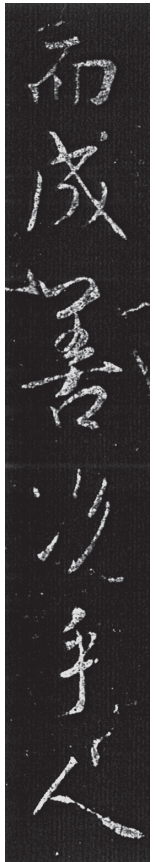
〔大意〕 鶴は老いてもはるか万里のさきまで飛んでいこうとする心を抱いているものだ。

準初段から師範まで

奥村暢之臨



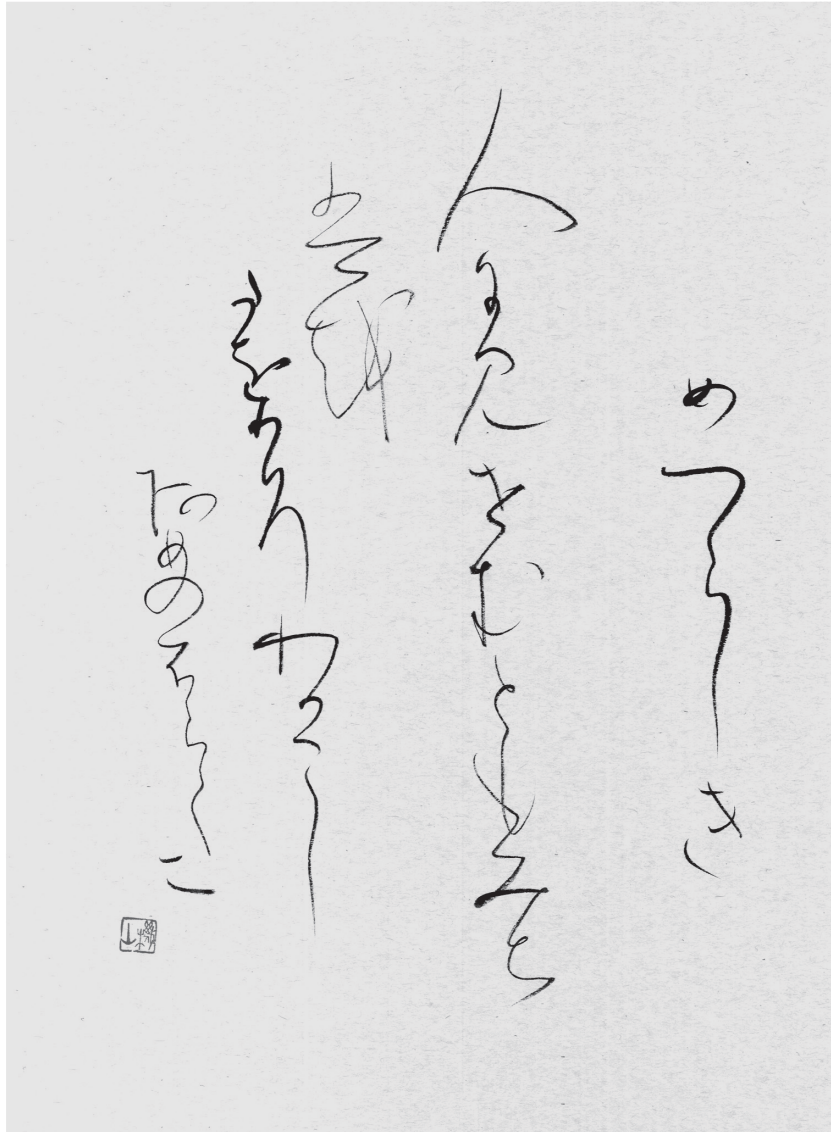
〔出典〕 集字聖教序(672) 〔筆者〕 王羲之法書より集字
〔読み〕 (猶お善なに資ぜんりて) 善よを成ぜんす。況なんや人い (倫識じん有りんしきあり、)



而
成
善
况
乎
人

一般部毛筆かな課題

締切り 11月24日(必着)



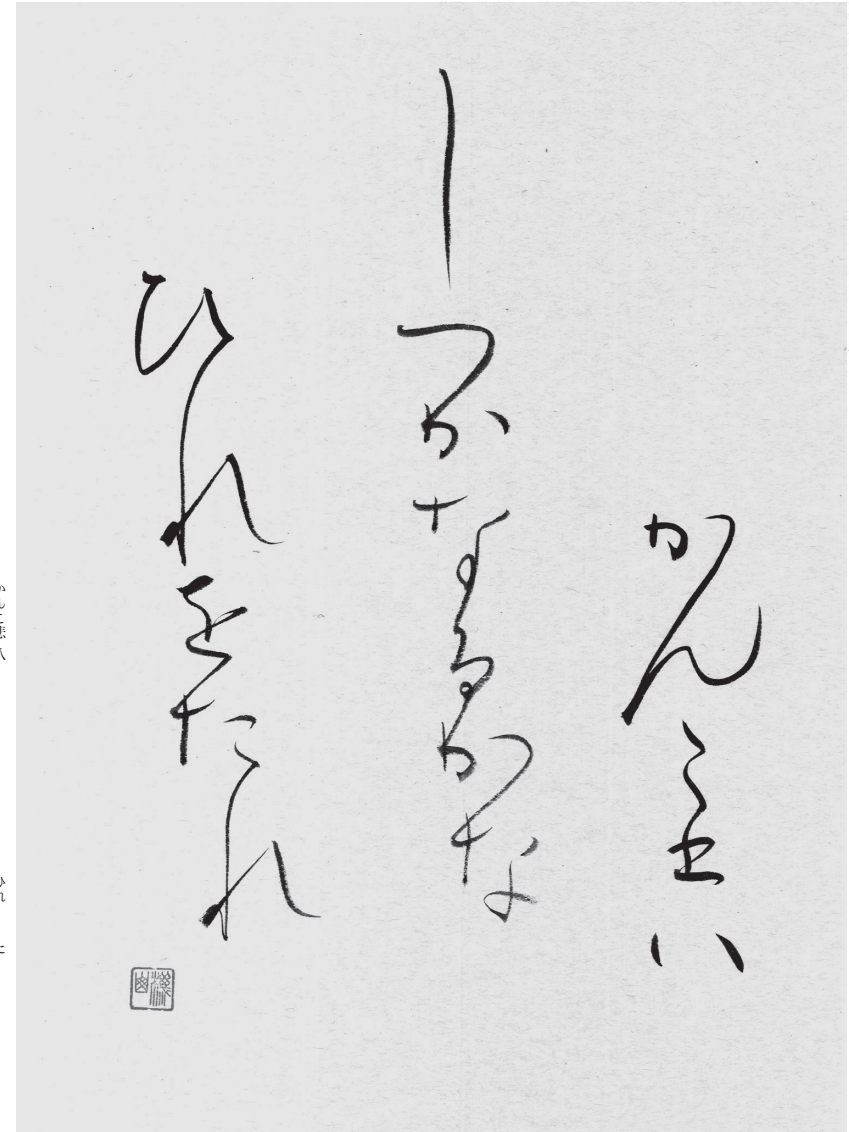
めづらしき人に見せむと黄葉を
 多を利曾可こ阿め不
 手折りそわが来し雨の降らくに

〔出典〕 橘奈良麻呂

〔歌意〕 逢いがたいなつかしい人に見せようと、もみじを手折ってわたしは来た。雨の降るのに。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



新入から1級まで

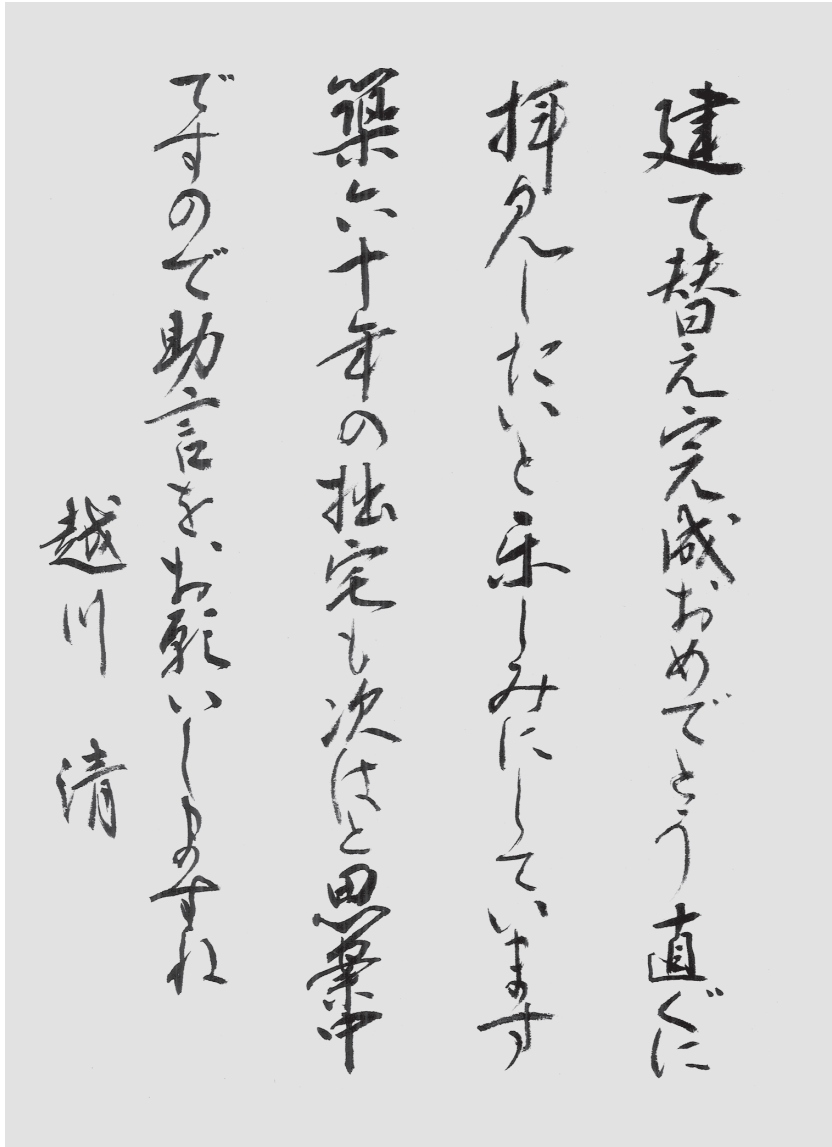
浅井機山先生書

〔出典〕 水原秋桜子

〔句意〕 池の底に微動だにしない寒鯉の姿に、寒にふさわしい凛然とした品位がとらえられている。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋 楓



締切り 十一月二十四日 (必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

萩 田 蒼 仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

(○自分の氏名)

建て替え完成おめでとう 直ぐに 拝見したいと楽しみにしています 築六十年の拙宅も次はと思案中 ですので助言をお願いしますね

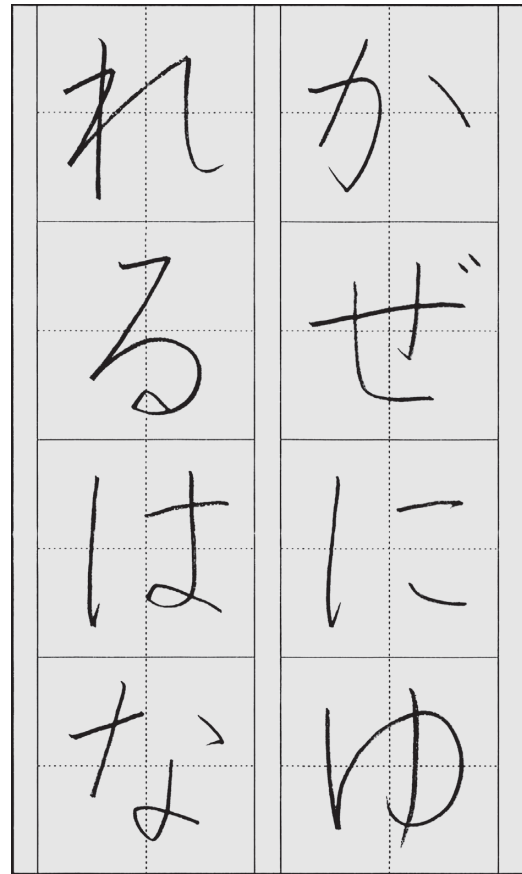
〔研修旅行に際して〕 研修旅行二日間の交流を通して、技能・知恵・考え方等を得る事で、自分の幅を広げて下さい。教範以上の方は次なる自分の課題を検討し見つけて下さい。ドッサリとメンタルな土産を持って帰って下さい。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔大意〕煙の中から一羽の鳥が飛んできて近くの渚に止まる。五つ六つの帆船が雨の中を下ってゆく。

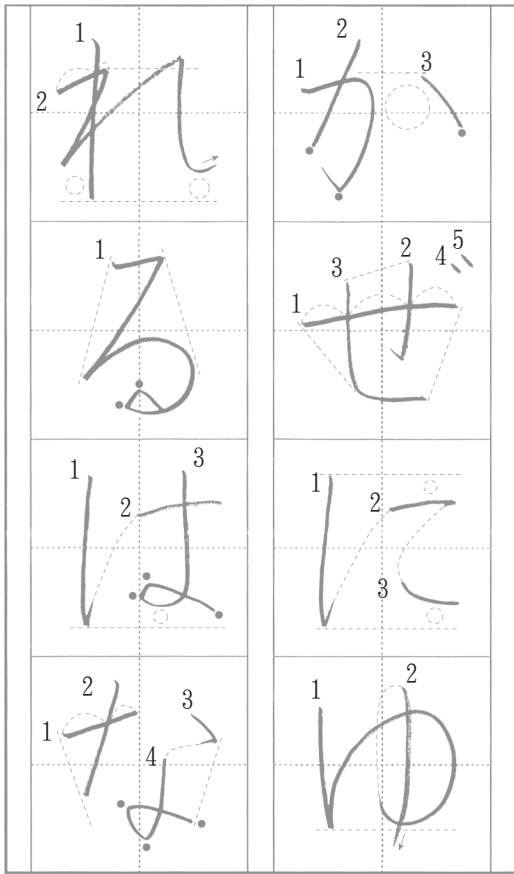
一鳥帯煙来別渚
数帆和雨下帰舟
王安石

よ
う
年



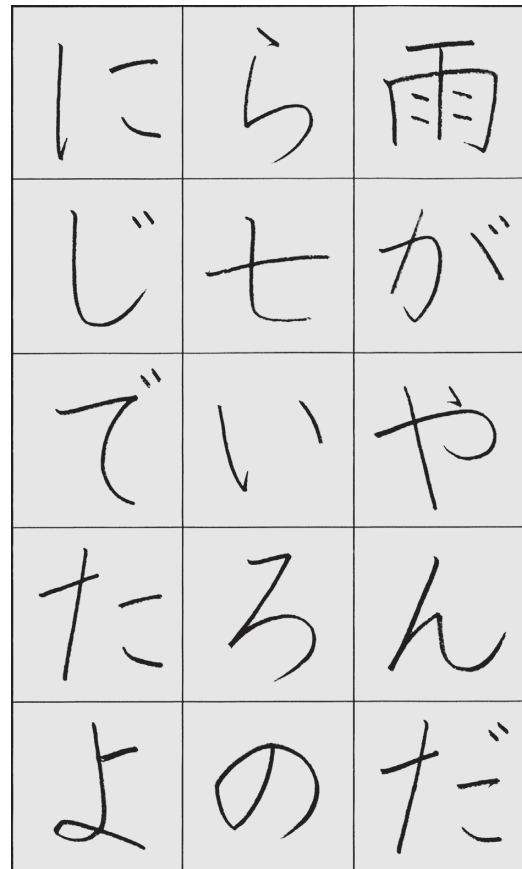
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

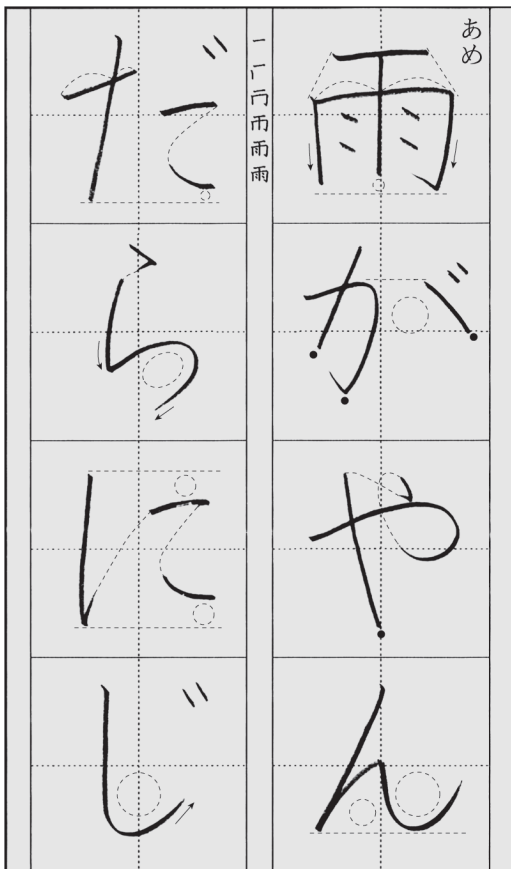
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

小二年

| | | |
|---|---|---|
| せ | で | 友 |
| が | カ | だ |
| ん | を | ち |
| ば | 合 | 五 |
| る | わ | 人 |

準初段以上

小三年

| | | |
|---|---|---|
| コ | 室 | 鳥 |
| を | 内 | か |
| 育 | で | ご |
| て | イ | 使 |
| る | ン | い |

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

| | | |
|----------------------------|-----------------------|--------------|
| ノ ハ ム ハ 合 合 | あ 一 ア 五 五 | ゴ 五 |
| | ノ 人 | ニン 人 |
| | | ち から カ |
| | フ カ | |

新入〜1級

| | | |
|-----------------------|----------------------------|---------|
| | イ ウ 声 鳥 鳥 | とり 鳥 |
| 一 サ 育 育 育 | そ だ | か |
| | | つか 使 |
| | イ イ 何 何 使 使 | |

新入〜1級

〈用具 自由(黒色に限る)〉

| | | | |
|----------|----|---|-----|
| コナ 建 建 建 | たて | 南 | みなみ |
| モノ 物 物 物 | もの | 向 | む |
| | | き | |
| | | の | |
| | | す | |

新入〜1級

| | | |
|---|---|---|
| い | 当 | 南 |
| 建 | た | 向 |
| 物 | り | き |
| で | の | で |
| す | 良 | 日 |

小四年

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

| | | | |
|-----------|----|---|----|
| ジョウ 場 場 場 | ジ | 自 | ジ |
| ケン 検 検 検 | ドウ | 動 | ドウ |
| サ 査 査 査 | シャ | 車 | シャ |
| サ 作 作 作 | コウ | 工 | コウ |

解説(よく見て習いましょう)

| | | |
|---|---|---|
| の | で | 自 |
| 見 | 検 | 動 |
| 学 | 査 | 車 |
| し | 作 | 工 |
| た | 業 | 場 |

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

| | | | |
|----------------------------|---|----------------------------|---|
| イ 和 祥 伴 從 | 從 | オ オ 担 担 担 | 担 |
| ・ ハ マ マ 安 安 | 安 | ノ イ イ 任 任 任 | 任 |
| ノ ハ ハ 今 全 全 | 全 | オ オ 指 指 指 | 指 |
| ・ ハ 少 火 | 火 | ー ニ テ 示 示 | 示 |

解説(よく見て習いましょう)

| | | |
|---|---|---|
| に | に | 担 |
| 火 | 從 | 任 |
| 災 | い | の |
| 訓 | 安 | 指 |
| 練 | 全 | 示 |

小六年

(全員)

| | | |
|---|---|---|
| が | 劇 | 奇 |
| 拍 | に | 跡 |
| 手 | 会 | の |
| 喝 | 場 | 逆 |
| 采 | 中 | 転 |

中二・三年

(楷書)

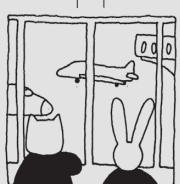
| | | |
|---|---|---|
| 逃 | 雷 | 突 |
| げ | に | 然 |
| 込 | 軒 | の |
| ん | 下 | 雨 |
| だ | へ | と |

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 さか酒 い井 けい桂 げつ月 書

| | | | | |
|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 行 <small>い</small> | 母 <small>はは</small> | 空 <small>くう</small> | 帰 <small>かえ</small> | 外 <small>がい</small> |
| き | と | こ | る | 国 <small>こく</small> |
| ま | む | う | 父 <small>ちち</small> | か |
| す | お | ま | を | ら |
| | か | で | | |
| | え | | | |
| | に | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |



◎お手本はえんぴつ使用




しめきり 11月24日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 はやし林 すい翠 ふう風 書

| | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| よ | 工 <small>こう</small> | 三 <small>さん</small> | 斬 <small>ざん</small> | 新 <small>あた</small> |
| う | 期 <small>き</small> | 年 <small>ねん</small> | 新 <small>しん</small> | し |
| や | の | も | な | い |
| く | 末 <small>すえ</small> | の | 設 <small>せつ</small> | 市 <small>し</small> |
| 完 <small>かん</small> | に | 長 <small>なが</small> | 計 <small>けい</small> | 庁 <small>ちやう</small> |
| 成 <small>せい</small> | | い | で | 舎 <small>しゃ</small> |
| | | | | は |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |



◎お手本はつけペン使用

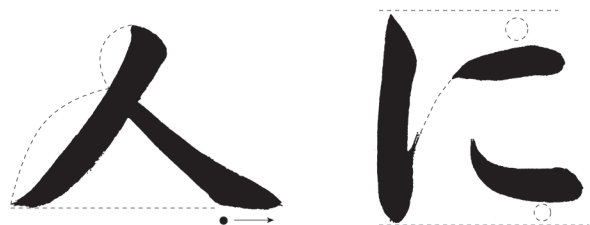
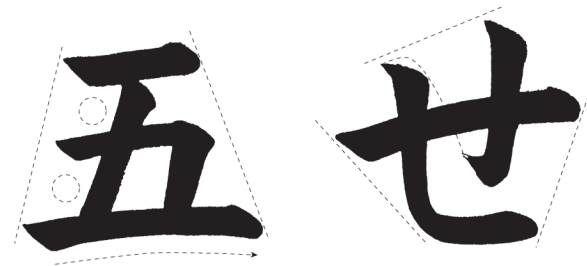
◇作品の出し方

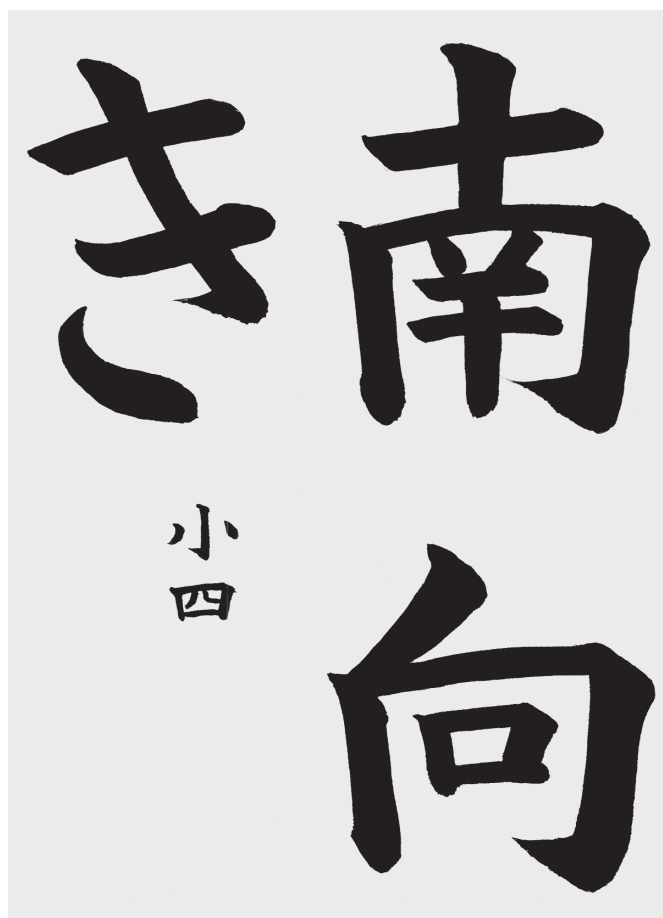
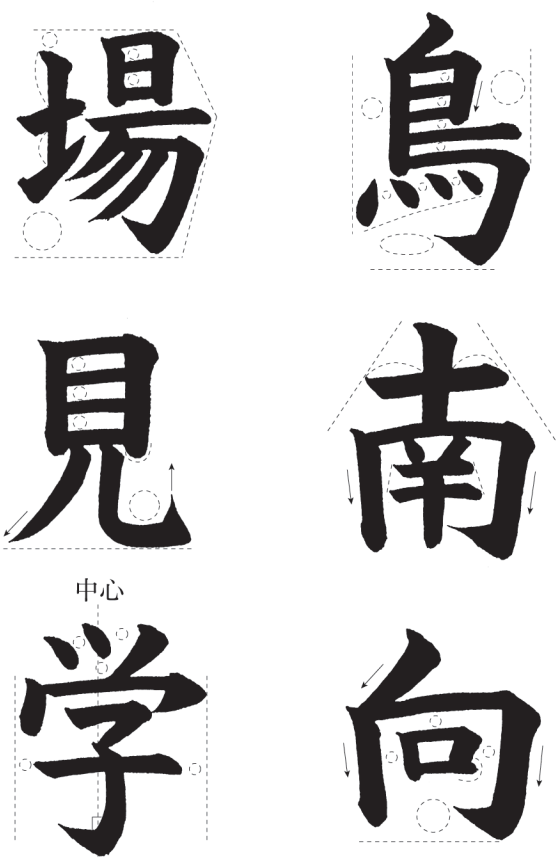
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年よ年ねん〜し小せう二に年
玉たま樹き小せう華か書





小三、小五年
水野香竹書

中二
喝拍
采手

小六
訓火
練災

小六(中二・三年)

奥村暢之書

然

災

喝

訓

采

突

中一
の突
雨然

第115回 硬筆検定試験受験要項

11月24日締切り

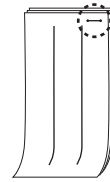
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成三十年十一月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成三十一年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) …… 一、〇〇〇円

規定 …… 一、二〇〇円

はがき・かな …… 一、六〇〇円

教育部 …… 六〇〇円

◆一般部1級・三段コース

| コース | 課題 | 最高昇段級位 | 課題 | 規定 | | | かな | はがき | 計 | 受験料 |
|-----|-------|--------|------------------|----|----|----|------|-----|---|-------|
| | | | | 楷書 | 行書 | 草書 | | | | |
| 一般部 | 1級コース | 1級まで | 下掲課題 (級位用紙使用) | 1 | 1 | — | (イ)1 | — | 3 | 1,500 |
| | 三段コース | 三段まで | 下掲課題 (段位用紙使用) | 1 | 1 | 1 | (ロ)1 | — | 4 | 2,000 |

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

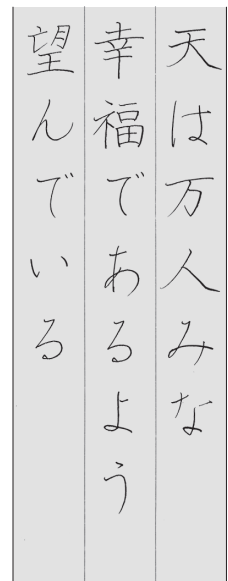
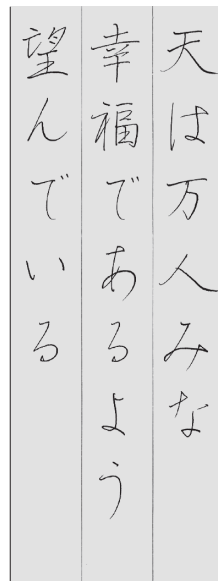
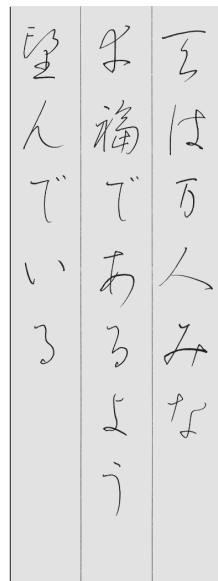
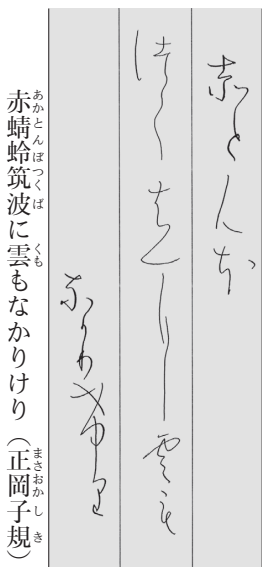
課題(ロ)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

| コース | 課題 | 受験資格 | 最高昇級段位 | 課題 | 規定 | | | かな | はがき | 計 | 受験料 |
|-----|-------|-----------------------|--------|--------------------------------------|----|----|----|------|-----|----|-------|
| | | | | | 楷書 | 行書 | 草書 | | | | |
| 一般部 | 書範コース | ・有段者 ・支局・支部長 | 書範まで | 下記3科目活字課題 | 1 | 1 | 1 | (口)1 | 1 | 5 | 2,800 |
| | 教範コース | ・書範 ・支局・支部長 | 教範 | 下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 4,000 |
| 教育部 | 普通コース | | | 11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由 | | | | | | 1 | 400 |
| | 会友コース | ・四段以上の中学生 ・準会友の小学生 | | 11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由 | | | | | | 2 | 700 |

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに
単位を取得されていても、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、
合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

■規定

両コース共通

書範・教範コース課題

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

大節身にある時は

小過ありといえども

不孝とせず

■かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

心なき身にも哀れはしられけり
鳴立つ澤の秋の夕暮(新古今和歌集)

■はがき

両コース共通

今朝がた航空便で、お心尽くしの
鮮魚到着。たった今、日本海から
揚がったかと思われるような輝く
うろこに目をみはりました。母の
誕生日の祝膳の王者となります。
家族一同の感謝をこめて一筆。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具⇒えんぴつ

小 1
大 こん 虫 が
す き だ

用具⇒鉛筆以外

小 4
し 旅
い 先 の 楽
便 り

用具⇒えんぴつ

小 3
が レ 運 動 会 の
大 ー で 赤 組 リ
勝 し た

用具⇒鉛筆以外

中 3
ビ 家 学 者 と 芸 術
デ の 対 談 を
オ 撮 り

(注)氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

■小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

■会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具⇒自由

学 の 灯
に 候 火
励 い 親
ま ざ し
ん 勉 む

(行書)

第75回 毛筆検定試験受験要項

12月19日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いいたします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 平成三十年十二月十九日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 平成三十一年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

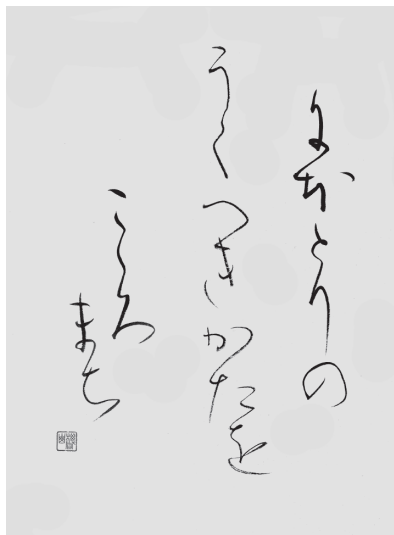
| | |
|---------|--------|
| 漢字半紙 | 一、〇〇〇円 |
| 細字・かな | 一、五〇〇円 |
| 漢字半紙 | 一、二〇〇円 |
| 細字半紙 | 一、〇〇〇円 |
| 条幅 | 三、五〇〇円 |
| 細字幅 | 一、七〇〇円 |
| 五段コース以上 | 八、〇〇〇円 |
| 会友コース以上 | 八、〇〇〇円 |

◆一般部1級・三段コース

| コース | 課題 | 最高昇段 | 課題 | 漢字 | | かな | 細字 | 計 | 受験料 |
|-----|-------|------|-------------------|----|----|----|----|---|-------|
| | | | | 楷書 | 行書 | | | | |
| 一般部 | 1級コース | 1級まで | 下掲課題 | 1 | 1 | 1 | — | 3 | 1,500 |
| | 三段コース | 三段まで | 20ページに掲載の漢字・かな・細字 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 2,000 |

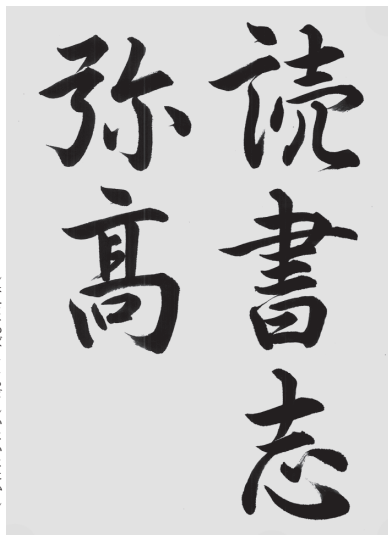
〔1級コース課題〕

《かな》



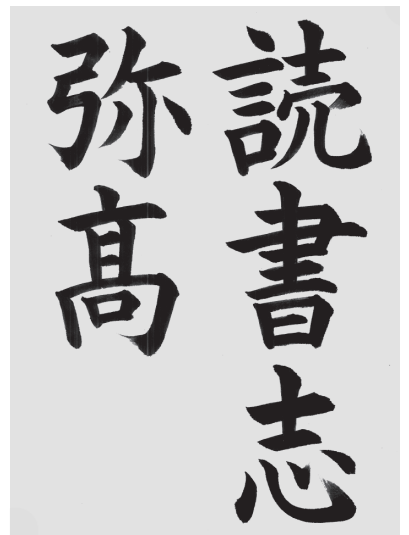
浅井機山先生書

《行書》



須田一葉書

《楷書》



◆一般部五段・書範・教範コース ◆教育部普通・会友コース

| コース | 課題 | 受験資格 | 最高昇位 | 課題 | 漢字 | | | かな | 細字 | 条幅 | 教育部 手本 | 計 | 受験料 |
|-----|-------|---------------------|---------------------------|--------|----|----|----|----|----|----|-----------|-----|-------|
| | | | | | 楷書 | 行書 | 草書 | | | | | | |
| 一般部 | 五段コース | 有段者 支局・支部長 | 五段まで | 下記(活字) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | — | — | 5 | 2,500 |
| | 書範コース | 有段者 支局・支部長 | 書範まで | 下記(活字) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | — | 6 | 3,000 |
| | 教範コース | 書範者 支局・支部長 | 教範 | 下記(活字) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | 4,000 |
| 教育部 | 普通コース | — | 12月しめきりの月例競書課題 | | | | | | | | 1 | 400 | |
| | 会友コース | 四段以上の中学生 準会友の小学生 | 12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) | | | | | | | | 2 | 700 | |

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

「五段・書範・教範コース課題」

■漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

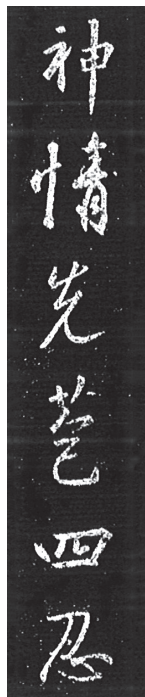
▼孔子廟堂碑

後固知 栖遑弗



▼集字聖教序

神情先 苞四忍



▼書譜

軍之筆札 雖復



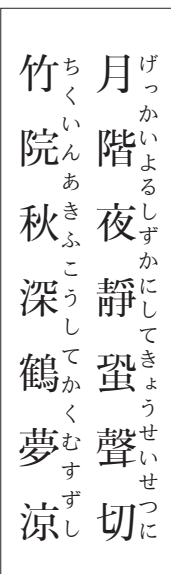
■かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎矢釣山木立もみえず降り乱る
(やつりやまこだちもみえずふりみだる)
雪に驟く朝たのしも(柿本人麻呂)
(ゆきとあまつくあしたのしも(かきのひとのまろ))

※20頁参照

■条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。



■細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

新居には慣れましたか 日当りの
やさそうな玄関先には季節の花の
プランターをプレゼントしますね
花壇造りはぜひ手伝わせて下さい

■教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小 1 えだ
小 6 学級発表

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

■会友コース課題

若者 (行書)

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《孔子廟堂碑》

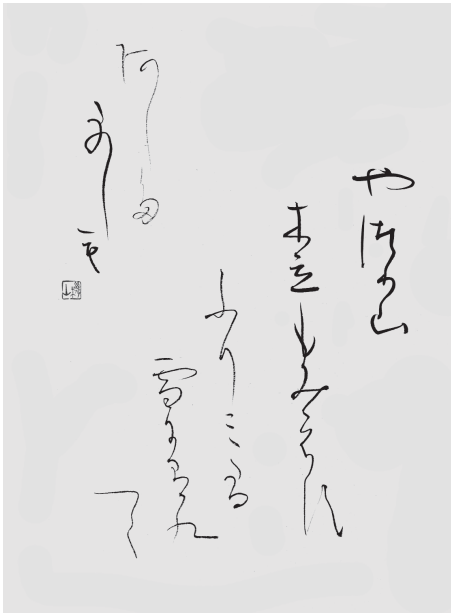
神谷葵水先生臨

伯終從
大夫之

伯終從大夫之

《かな》

浅井機山先生書



矢釣山木立も見えず降り乱る
雪に驟く朝たのしも (柿本人麻呂)

《集字聖教序》

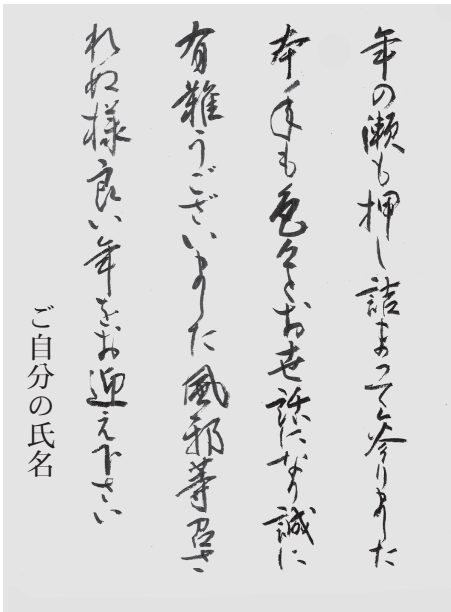
神谷葵水先生臨

三空之
心長契

三空之心長契

《細字》

樋田玲華書



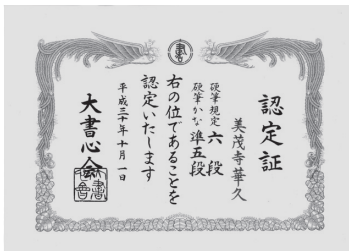
※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。

認定証交付について

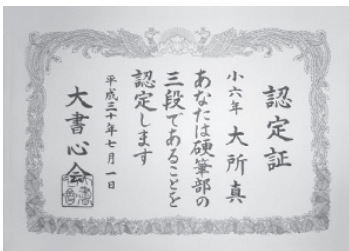
■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を
随時交付しております。ご希望の方は、段級
位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添
えて本部事務局までお申込み下さい。

認定料

- ◆一般部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
- ・書 範……………一〇、〇〇〇円（〒六〇〇円）
- ・段 位……………二、〇〇〇円（〒二九〇円）
- ・級 位……………一、〇〇〇円（〒二九〇円）
- ※書範は額入り、他は筒入り。
- ※認定料は、上位の成績を基準とします。
- ◆教育部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
- ・準会友……………一、〇〇〇円（〒八二円）
- ・段 位……………五〇〇円（〒八二円）
- ・級 位……………三〇〇円（〒八二円）
- ※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお
申込み下さい。
- 会友認定料……………二、〇〇〇円
- 師範・教範免許料……………三五、〇〇〇円
(いずれも合格時納入)



〔例〕一般部硬筆（新形式）



〔例〕教育部硬筆

B4判

A4判